

第2回境港市みんなでまちづくり推進会議会議録

日時：平成24年5月17日(木) 18:30～21:00

場所：市民活動センター

日程

1. 開会
2. 平成24年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. 閉会

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇京子 門脇紀文
土井哲雄 徳尾勝 浜田照美 松本幸永 水田浩司 渡部敏樹

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1 団体目 境港市青年会議所

- ・申請事業 「キッズベンチャー事業」
- ・事業内容 小学4～6年生を対象に、弓浜緋を題材にした、商品づくり、企画、販売を体験してもらう。地場産業・伝統文化、それに携わる人たちと接することによって地域のすばらしさを感じてもらい、次代へつなげていくことの大切さを学んでもらう。

(委員)伯州綿をどうするのですか？

(青年会議所)子供が主体となって商品のデザインや販売方法等を考えていきます。それを大人がサポートしていきます。

(委員)採択されなかった場合はどうされますか？

(青年会議所)企画は中止となります。

(委員)提出された見積書に「キッズベンチャー事業材料一式」というものがありますが、一式にはどのようなものが含まれていますか？

(青年会議所)商品を作る際の装飾品（レース等）が含まれます。

(委員)商品はみなと祭りで販売されるんですね？

(青年会議所)そうです。みなと祭りの実施本部が青年会議所で、昨年引き続き境高校の書道部による書道ガールズとキッズベンチャーを企画しています。事業収入は東日本大震災の被災者支援金として寄付をする予定としています。鳥取県とも話し合いをしています。

(委員)弓浜緋の専門家の方も来られますか？

(青年会議所)はい。

(委員)募集人数30人という数にはどういう意味がありますか？

(青年会議所)大人が責任を持ってサポートできる範囲での募集人数としました。

(委員)1回目のサポートが重要になってくると思います。

(青年会議所)私たちも重要視しています。そのため誰でも同じサポートができるように勉強会を行っています。

(地域振興課長)事業収入は寄付されるとおっしゃっていましたが、補助金というのは足りない部分をカバーするというものであって、収益があるのならば補助金の主旨と異なってきます。また、事業内容が申請書だけで分かるようにしてもらいたいと思います。

◇2 団体目 子どもたちと綿を作ろう会

・申請事業 子どもたちと綿を作ろう会

・事業内容 提供された畑に渡小学校 6 年生が伯州綿の種を撒き、育てて秋に綿を収穫する。その綿を木綿の布にして風呂敷を作り文字を染色し卒業式に贈る。

(委員)発注のロット数が 200~300 枚といった単位だと思いますが。

(子供たちと綿を作ろう会)そうです。他の学校を誘う、数年間使うといった話があります。

(委員)ぜひ継続してもらいたと思います。

(地域振興課長)来年度以降はどうされますか？

(子供たちと綿を作ろう会)継続していきたい気持ちがあります。

(地域振興課長)自己負担金がかかなりありますがどうされるのですか？

(子供たちと綿を作ろう会)資金が足りない場合は自己負担します。

(地域振興課長)加工の時期はいつくらいになりますか？

(子供たちと綿を作ろう会)10 月末くらいだと思います。

<プレゼンテーション終了>

(会長)多くの団体に補助金を使っていたきたいが、補助金は税金から出されています。そのため、いかに有効に使ってもらえるか、事業を拡大していけるか、継続していけるかが重要となります。審査が厳しいと申請をやめてしまう場合もでてきますが、少しずつでもレベルが上がっていくように発展性、継続性を重視して審査をしたいと思います。

最初に「青年会議所 キッズベンチャー事業」について意見がありましたらよろしくお願ひします。

(委員)収益があるというのは問題だと思いますが・・・。

(会長)申請書に事業内容が載っていない、プレゼンテーションで話を聞きようやくわかった。収益を考えていると分かっていたら審査も変わっていたかもしれません。

(委員)事業のテーマが「経済」なので、売って完結となる。となると収益はでますね。

(委員)小学 4 年生にできるのでしょうか。大人がやっては意味がないと思います。

(会長)計画はとても良いと思います。

(委員)企画は面白いと思います。ただ収益の問題をどうするかですね。

(委員)そもそも収益といえるほどになるでしょうか。

(委員)15万円で商品を作って、いくらくらいで売れるのでしょうか。手作り物はそんなに値がつかないですし。

(委員)収益を寄付するのではなく、作ったものを送ってもらうのはどうでしょうか。

(委員)それなら補助金の主旨ともはずれないが、テーマが経済なので売って完結するのでしょうか。

(会長)いくら売り上げがあっても、いくら寄付したのか事業報告書にきちんと載せてもらいましょう。

(地域振興課長)補助金をもらって事業収益がでるという考え方は認識の問題でしょう。過去にも同じことを伝えていますが、年ごとに担当者が変わっているようで十分な伝達が行われていないようです。

(委員)見積書の内容は「材料一式」では分かりません。きちんと内訳を書いてもらわないと。

(委員)やはり申請書も読めば事業内容が分かるものを提出していただきたいと思います。

(会長)申請書と見積書を再提出してもらうことと、収支予算の中に見込みの事業収益を入れてもらうことを前提に採択ということにします。

<採択>

(会長)それでは子どもたちと綿を作ろう会の審査に移ります。

(委員)子どもたちが体験できる流れを作っていくことが必要ですね。

(委員)体験させることが大事ですね。

(委員)染めをしてみるのはどうですか。

(委員)手前で染めをすると色がすぐ落ちてしまうんですよ。

(委員)こういう事業は継続しないと意味がないし、続けていくべきであると思います。

(委員)伝承にもつながるかもしれませんし。

(会長)伯州綿は有機栽培が基本です。育てる前と後で土が変わっていくのも分かります。

<採択>

(会長)それでは緑化事業の審査に移りますが、今回の申請はすべて継続で、報告書も出ていますし採択で良いと思います。

(委員)上道小学校、境小学校、京和自治会を見てきましたが、花が多く良かったと思います。

(委員)他の小学校もきれいにしてあってよかったです。

(委員)PTA総会での資料を見ますと、上道小学校だけ「花いっぱい事業」が明記されており他校には記述がありません。

(会長)補助金を受けた事業ですし、決算書、予算書には「花いっぱい事業」などと分けて明

記してもらうよう市から指導をお願いします。

(事務局)交付決定通知を送付する際に、決算書、予算書へ補助事業の項目を作るように指導いたします。

(委員)補助をした効果を知るためにも発表会などしてみても面白いのではないのでしょうか。

(委員)市民の目に触れるような機会があるといいですね。

(委員)看板やプランターに「境港市市民活動推進補助金事業」のように表示してもらってもいいんじゃないのでしょうか。

(会長)補助金を受けたということが分かるように、まずは決算書にきちんと分けて書いてもらいましょう。そうすれば保護者の方々にあの事業は補助金を受けたものだったのかと知ってもらうこととなりますし。それでは緑化事業はすべて採択ということによろしいでしょうか。

<採択>

<閉会>